



・メキシコ



# メキシコ遺跡の旅





# ◇メキシコ遺跡の旅概観◇

(08/2/2 ~ 2/13)

**発端** メキシコには以前から興味があったが、ただの通過なのにアメリカ空港で受ける仕打ちの不愉快さが二の足を踏ませていた。ところが最近、メキシコ直通があるという。昨年あまり旅行ができなかったこともあり、それではとツアーを申し込むことにした。体調も万全とは言えなかったが、旅行社がグローバルで強行軍にはしないという安心感もあった。

行程は、アエロメヒコ航空で成田からカリフォルニア半島メキシコ領のティファナへ、そのままメキシコシティに向かった。

## メキシコシティ

2000 mを越える高地だが、低緯度で住みやすい気候である。盆地状の地形で、排気ガスなどがたまって大気汚染が激しい。現代・歴史の入り交じった大都市で見所は満載。写真には多く載せられなかったが、国立人類学博物館は充実度の高い大博物館である。

## テオティワカン (A.D.0 ~ 600)

メキシコシティから程近い距離。規模が大きく、太陽・月のピラミッドの前には大きな広場があり、広い死者の道路がこれを繋ぐ。遺跡の修復状態もよい。余談だが、メキシコの遺跡の多様なオリジナルは殆ど博物館に移され、後にレプリカが置かれている。これがどこも中々の出来で、本物といわれてもわからない。

## モンテ・アルバン (B.C.500 ~ A.D.1000)

今回の中では最も古い遺跡。オアハカから程近い。山の上が平らに削られ、時代を追って次々に建てられた建造物が建ち並ぶ。踊る人々の神殿の像は捕虜の像。小規模だが博物館もあり、整備度の高い遺跡である。

## ミトラ遺跡とオアハカ周辺

**ミトラ遺跡** (A.D.900 ~) ここもオアハカに近い。目

立ったピラミッドではなく、特色は細かな石組みのモザイク、地下に掘り下げた墳墓である。

**オアハカ** 古い綺麗な町並みが続き、教会・露店が多い。ホテルは元カテドラルで、庭の花が綺麗だった。

**トゥーレ** 巨大セコイヤ、ヨセミテのグリスリージャイアンツと同じ樹。

## パレンケ (A.D.600 ~ 800)

テオティワカンの後に栄えた。整備もよく纏まった綺麗な遺跡。高い階段を登った宮殿の中庭には捕虜の像が並んでいた。

## カンペツェ市街・カバー遺跡

**カバー遺跡** (A.D.900 頃) ウシュマルの姉妹都市。広い遺跡だが、まだ修復があまりできていない。進めばかなりの遺跡になるだろう。

**カンペツェ** 一角にパステルカラーの町並みが美しい世界遺産の旧市街があり、外れの岩壁には 18 世紀に作られた要塞がある。

## ウシュマル (A.D.800 ~ 1000)

高い建造物が多く、修復もかなり進んだ雄大な遺跡である。夜は音と光のショーも行われた。

## チチェン・イツァ (A.D.900 ~ 1200)

メキシコで最も美しいといわれるエル・カステージョを中心に、多彩な建造物を持つ遺跡。時代の違う新エリアと旧エリアに分かれている。

## カンクンと周辺

**トゥルム遺跡** 大きくはないが、海辺の遺跡ということで見に来る人が多い。

**カンクン** 今回唯一のリゾート地。アメリカからのリゾート客が多い。

(文・写真整理 片山守)

\* 図中の地図は、辻丸純一氏によります。



# メキシコシティ



国立宮殿

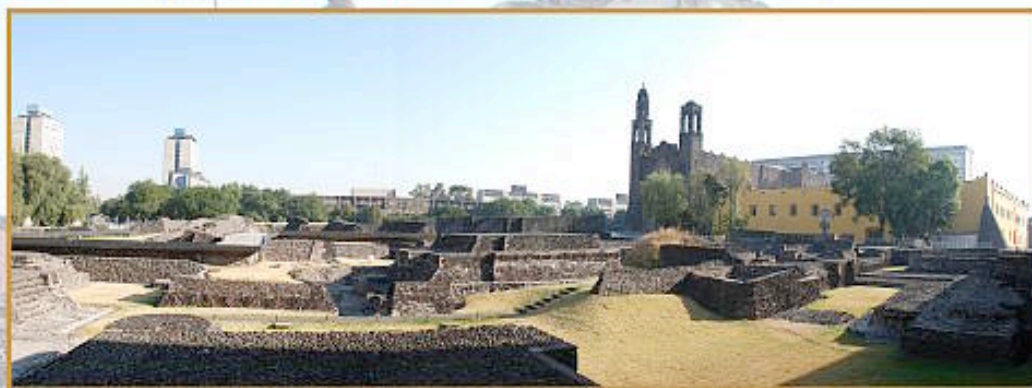
▶鷺を拜める先住民の像

ソカロ広場



三文化広場

▲壮大な歴史の壁画群



▲地下に埋もれて、重層構造になっていた

国立人類学博物館



独立記念塔



▲二輪車でパトロール



▲後ろの公園のリス

▶教会らしからぬ外観

グアダルーペ寺院



▲日曜日は凄まじい人々……



▲左手の博物館入場に並ぶ人の群れ



# テオティワカン



▲▶太陽のピラミッド  
中段から見る



▼正面の階段を登る



▲太陽のピラミッド全景

新しく見つかったため、  
現場に置かれている。



▲遺跡の通路に入る



▲▼神殿の建物と壁画



▲ピラミッドを  
背にした道路  
左右に土産屋が  
並んでいる。



▲死者の大通り  
月のピラミッドから太陽のピラミッド前に続く。



▲月のピラミッドと前の広場



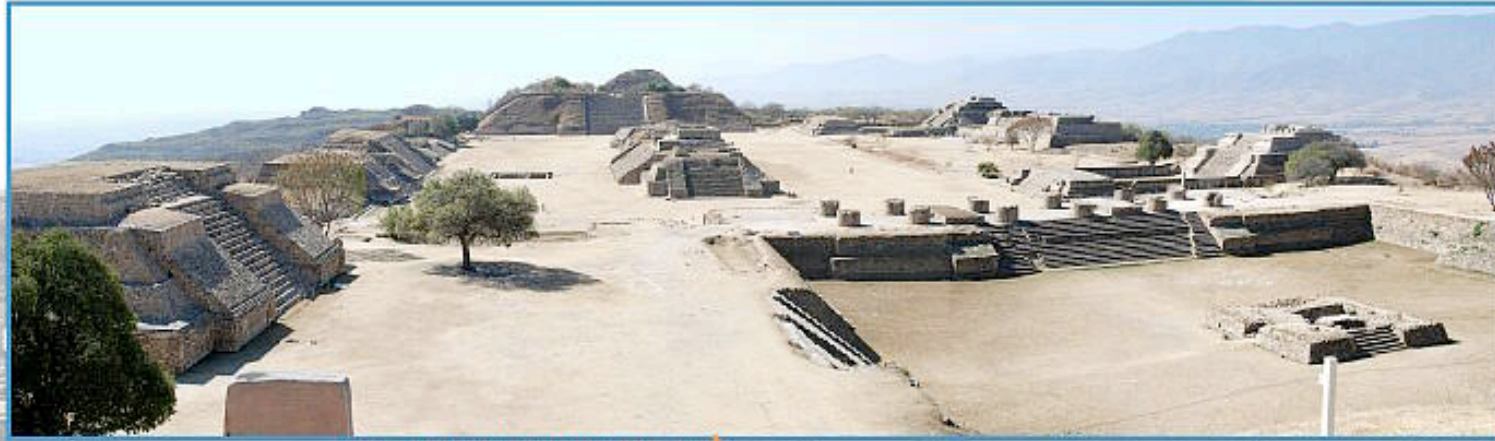
# モンテ・アルバン



博物館



この博物館は規模が小さく、多くは市内にあるオハオカ文化博物館に保存されている。



▲北の大基壇から南の神殿群を望む



▲広場中央の大神殿



▲天文台  
この建物だけ、建物の角度が違っている。



▶▲神殿脇と内部の捕虜の彫刻  
本物は入口や市内の博物館に移され、跡にレプリカが置かれている。



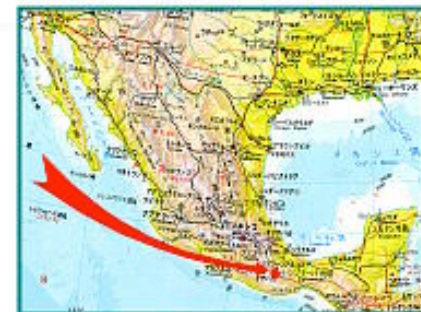
▲踊る人々の神殿



▲球技場 立派な球技場だが、ボールの輪はない。



# ミトラ遺跡とオアハカ周辺

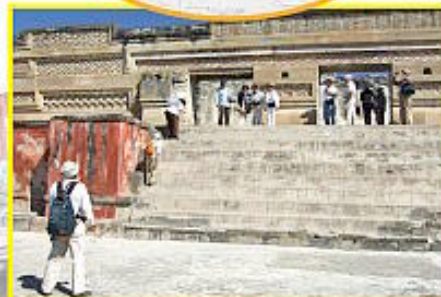


ミトラ



▲遺跡入口の教会 スペイン人が現地の建物を壊し、その材料を使って建てたという。

▶遺跡の中心部  
多くの切石を巧みに組み合わせたモザイクの壁に特徴がある。



▲アメリカ大陸最大の樹 "トゥーレ"



トゥーレ



▲入口から遺跡を見る



▲トゥーレ セコイヤの一種。高さ42m、幹周58m、直径14.05m、重さ6t。この木だけで観光が成立しているという。しかし、アメリカ最大といえば、例えばヨセミテ公園のグリスリージャイアンツとどうなのかななどと思う。

市街地



▲バザールの果物売り  
広いバザールの入口に近いところで店開き。

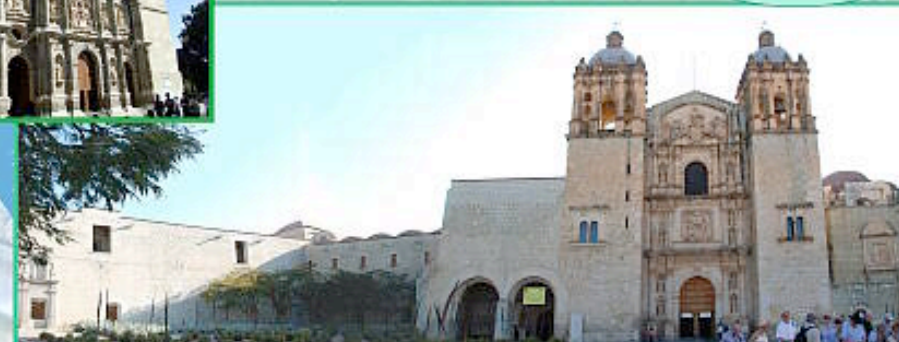
▶ホテルに近い通りの露店



▶銀の教会



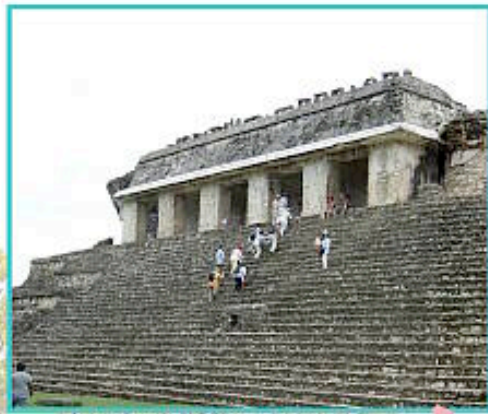
▲トラクルーラの大聖堂



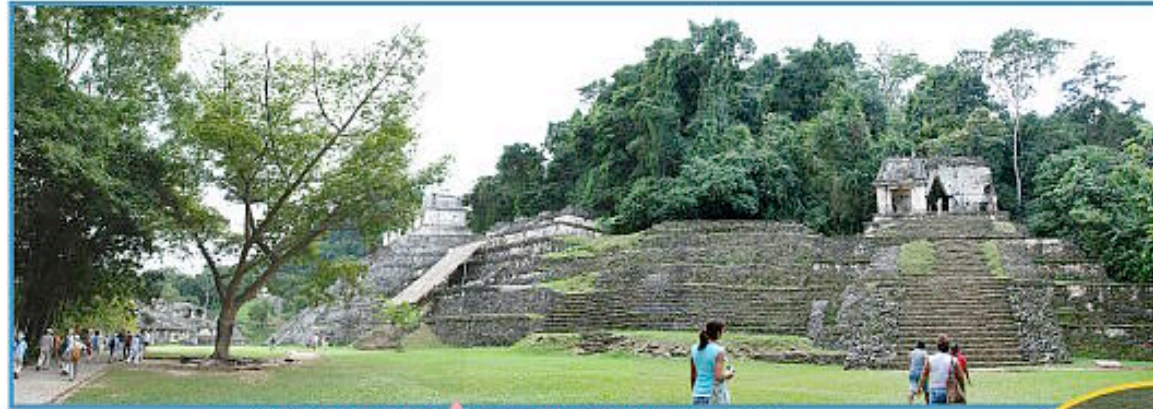
▲サント・ドミンゴ教会 教会の多い町の中で、これが最も大きい。



# パレンケ



▲宮殿の長い階段を登る



▲遺跡の入口近く、手前から頭骸骨の神殿、神殿13



▲皮のカレンダーを買う  
マヤ文明独特の暦。



▲宮殿の壁画  
を見る



▲捕虜のレリーフ



▶道の両側に幾つ  
かの売店が並ぶ  
十字架の神殿から  
見る。



▲宮殿の中庭



▲碑銘の神殿



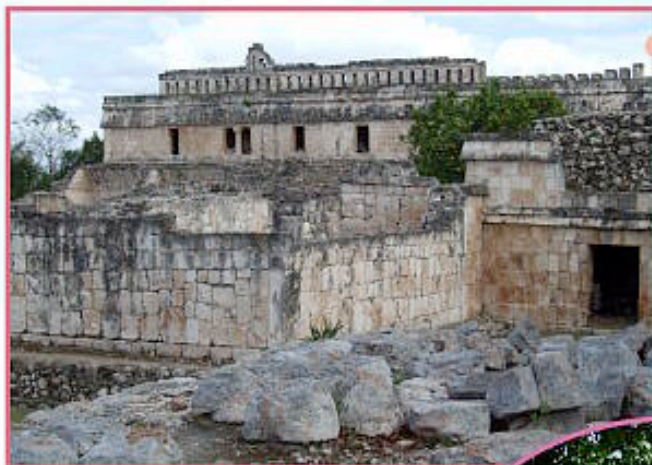
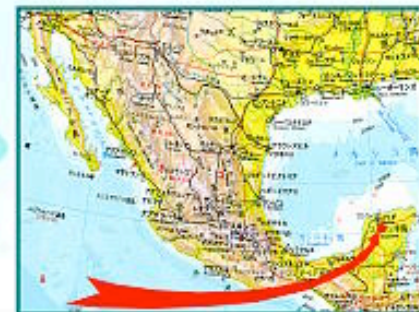
◀ここでは珍しいピラミッド型



▲十字架の神殿から太陽の神殿（手前）宮殿（右奥）などを望む



# カンペツェ市街・カバー遺跡



カバー

▲中心の宮殿



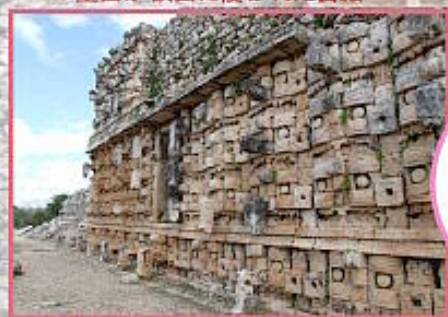
旧市街

▲パステルカラーの市街 世界遺産に登録されている。



▲旧市街への入口

▼壁面が仮面に覆われた宮殿



▶旧市街の中心  
大聖堂



→要塞の跳ね橋



城塞



▲階段も顔が覗む



▲入口付近から見たカバー遠景



▲サン・ミゲル要塞 18世紀初頭完成した。



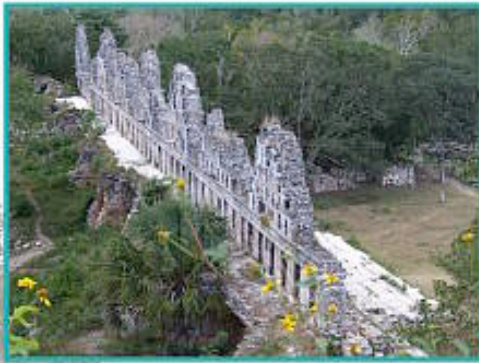
# ウシュマル



▲遺跡入口から見る魔法使いのピラミッド



▲魔法使いのピラミッド正面 最近登れなくなった。



▲鳩の家  
壁だけが残っている。



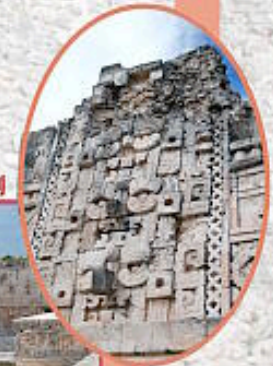
◀◀急傾斜で、登りも下りも大変



▲球技場 遺跡の割に規模が小さい。



▶音と光のショー  
夜はライトアップショー。  
遠い建物も合わせて  
輝く。



▶館の壁の彫刻



▲大ピラミッド上より尼僧院、魔法使いのピラミッドを望む



▲総督の館の広場



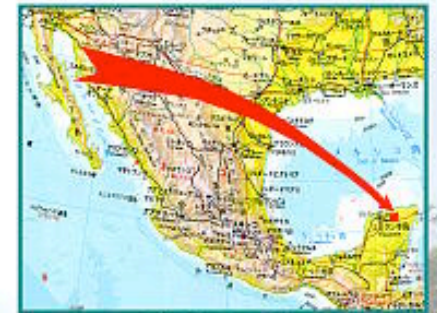
# チチェン・イツア



▲▶ 球技場とボールの輪  
最大規模の球技場である。



▲エル・カスティージョ メキシコで最も美しいピラミッドといわれている。



▲聖なる泉セノーテ  
生贄の伝説がある。



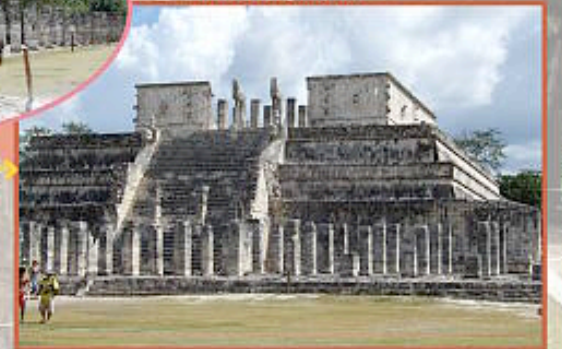
◀▲ジャガーの  
神殿とジャガー像  
裏手が球技場である。



▲露店の多  
彩な品物



▲▶ 戦士の神殿  
と列柱



▲高僧の墳墓



▲二層構造の尼僧院と教会



▶大規模な天文台



ホテル



↑海に突き出た砂州の上にある様な形。他のホテルも並んでいる。



▲ホテルのテラスから  
広大で多彩なプール群、  
長いプライベートビーチ  
がある。

土産物街



▲何でもある土産街  
娘へのイヤリング、息  
子へのサッカーユニ  
ホームなどを購入。



# カンクンと周辺

トゥルム遺跡



▲海岸線のトゥルム遺跡 それ程大規模ではないが、海辺が珍しい。



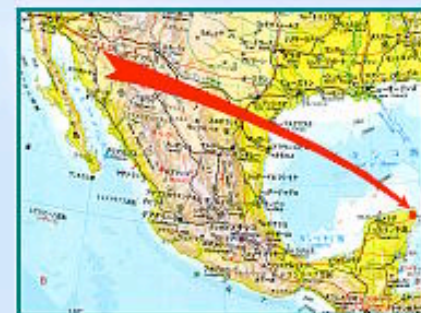
▲大きなイグアナを抱えて  
通常のタンパク源だそう。



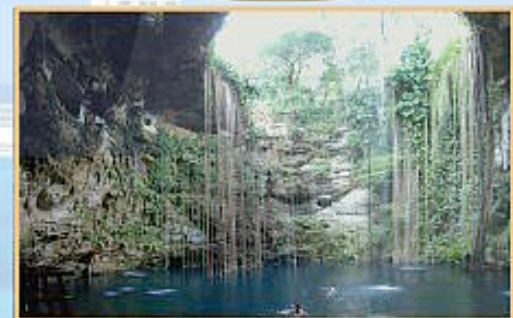
▶▲あちこちで見られるイグアナ



▲海を見下ろす  
下の海岸は海水浴場で  
多くの人が泳いでいる。



イキルのセノテ



▲空にぽっかり空いた穴



▶泳ぐ人々



▲遺跡の入口まで運ぶ乗り物



▲広い空洞と深い泉 泉の温度は22〜23度だという。



# 私たち



▲三文化広場(メキシコシティ)



▲太陽のピラミッド前(テオティワカン)  
残念ながら中腹までしか登れなかった。



▶メキシコシティの  
ホテル前で  
客待ちのタクシー運転  
手が撮ってくれた。



◀カンクンのホテルビーチ  
些か風が強かった。



▲ラ・ベント屋外博物館



↑沢山のキツネザルが  
いて、足下に寄ってきた。



▲パレンケの遺跡で



▲海辺に近いトゥルム遺跡



▲独立記念塔広場前のベンチで  
(メキシコシティ)



▲エル・カスティージョ(チチェン・イツァ)



▲カンクンのスポーツウェア店で  
店の若い元気な店員たちと。



▲カパー遺跡で



▲モンテ・アルバンの高台



# 子どもたち



▲インドの母子(トゥルム)



▲元気な兄弟(トゥーレ)



▲花を売る少女  
(カンベチェ)



▲空港で  
(メキシコシティ空港)



▲娘自慢のパパ(太陽のピラミッド中庭)



▲アジア系の家族(カンクンの商店街)



▶隠れたつもり  
(オアハカ・バザール)  
カメラを向けたら……。



▲はにかんで  
(チチェン・イツァ)



▲小さな売り子たち(チチェン・イツァ)



▲バイバイ(オアハカ)



▼オアハカの空港で  
ビビを使って写真を撮らしたら大喜びだった。  
周りは興味津々、こちらも楽しかった。



# メキシコ遺跡の旅仲間



添乗員の早田さん。  
色々ご苦労様  
でした。



今回のラブラブ  
カップルは松永  
さん夫妻。優しい  
千明さんと間違えな  
さん。神戸からの参加です。



唯一の50代カップル。能井な  
司光さんとこれまた元気なミ  
ツ子さん。茨城県は土浦から  
の参加。



現地のスルーガイド  
笹本さん。熱意  
のこもったガイド  
でみんなの気持ち  
を盛り上げてく  
れました。



最年長に見えない元気な明さんと、  
巧みな話法で話のオチを持って行  
く小夜子さん。富山県は高岡市か  
らの参加。



関西大震災全壊に負けず、世界  
旅行に勤しむ哲夫さんと總子さん  
の高見さん夫妻。神戸からの参加。



總子さんのお姉さんで、いつも一緒に  
旅行する平野志津子さん（左）と、お友  
達でダンス上手の杉野愛子さん。こち  
らも神戸からの参加。



お世話  
になりま  
した



旅後半の長いバスの旅を巧みな  
運転で頑張ってくれたバス運転手  
のダリオさん。

(背景は太陽のピラミッド。写真は一部加工しています。)





◀太陽のピラミッド

◇ティオティワカン遺跡◇

▼月のピラミッドと周辺







◀三文化広場

◇メキシコシティの賑わい◇

▼ソカロ広場







◀ 魔法使いのピラミッド  
(ウシュマル遺跡)



◀ エル・カステージョ  
(チチェン・イツァ)





▲宮殿の階段を登る (パレンケ遺跡)



◀イキルのセノテ 水温22～23度。